

セミナーの御案内

下記の小セミナーを実施します。

演題： **「蛋白質の実験で困った話」**

講師： 松本篤志

Gemini Science Lab* (La Jolla, CA, USA)

(*キリンビール医薬探索研究所 米国研究所)

日時： 2003年1月28日(火曜日) 午後5時30分

場所： 14号館804室

世話人： 教育学部 生物学教室 加藤尚志(内線71-3913)

近年、プロテオームが盛んに推進されようとしていますが、蛋白質の分離精製やハンドリング技術については尚も多くの課題が立ち並んでおり、実際には多くの研究者達は概念と現実のギャップに悩んでおります。

松本さんは、ng ~ pgオーダーに存在する生体蛋白質はもとより、グラムスケールに至るモノクローナル抗体や遺伝子組換え体(大腸菌・動物細胞発現系)を扱うような経験を豊富にお持ちです。

今回はその御経験談を中心に、なるべく平易に蛋白質を扱うことの難しさや楽しさを語って頂きます。蛋白質の扱いは何やら面倒で近づきたくない、という方も、ちょっと話を聞いてみませんか？

尚、遺伝子組換え体の発現やリフォールディング等を含めて、蛋白質を対象に現実的な問題を抱え、泣き寝入り・撃沈の憂き目にあっている方も多いかと思えます。お手持ちの難渋課題をコンサルティングして頂くことも出来ますので、ご興味のある方々はお気軽に参加下さい。尚、このセミナー内に解決出来なかった場合は、後日私もトラブル解決に参加させて頂く、という御提案も考えています。